

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 「地域高齢者における脊柱アライメント変化と QOL の縦断的関連：東栄町住民コホート 10 年追跡データの解析」
	●研究の対象 愛知県東栄町において 2014 年および 2024 年に実施された運動器検診に両時点で参加した 50 歳以上の 103 名
	●研究の目的 この研究では、「背骨のゆがみ（姿勢の変化）」が、10 年後の生活の質（QOL）や体の動きやすさにどのような影響を与えるかを調べています。 具体的には、2014 年と 2024 年に愛知県東栄町で行われた運動器検診に参加された 50 歳以上の方を対象に、背骨のレントゲン写真や、生活の質に関するアンケート（EQ-5D、ODI）、身体機能の検査（握力やバランスなど）を比較・分析します。 この研究の目的は、年齢とともに起こる背骨のゆがみ（アライメントの変化）が、将来の健康や日常生活にどのような影響を与えるのかを明らかにすることです。 この結果は、将来的に「姿勢の変化を早めに見つけて、健康の低下を防ぐ方法」を考えるための大切な手がかりとなります。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2028 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	東栄診療所から浜松医科大学にデータの提供が行われます。提供方法は、CD-R を郵送します。データには個人を特定できる情報は含まれません。特定の個人を照合するための情報は、提供元で保管・管理します。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 ○患者背景：年齢、性別、身長、体重、BMI ○QOL 評価指標：EQ-5D (EuroQol 5 Dimension)、ODI (Oswestry Disability Index) ○アンケート調査：内科合併症情報、既往歴、内服薬、運動習慣、転倒歴、自覚症状、Locomo25 ○運動機能検査：歩行速度、握力、Functional reach test ○画像検査：全脊椎および全下肢単純 X 線像（脊椎矢状面パラメータ） 骨密度（腰椎、大腿 YAM 値）
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 責任者名：整形外科/次世代創造医工情報教育センター 講師 有馬秀幸 既存試料・情報の提供を行う機関： 東栄診療所 丹羽美和子
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《資料の入手 または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示 》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ 先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 整形外科学講座 担当者： 有馬 秀幸 TEL： 053-435-2299